

第 13 回 Re-Seed セミナー 「マイナス金利時代の不動産投資

～わが国における不動産投資機会とその将来性～

B-2 増加するインバウンドと不動産市場

～2020 年に向けた宿泊需要の見通し～

■開催日時：2016.10.7（金）15：00～17：00

■講師：みずほ総合研究所(株) 調査本部経済調査部

主任エコノミスト 市川 雄介 氏

<略歴>平成 20 年 東京大学法学部卒業後、みずほ総合研究所入社。

平成 27 年 英ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（L S E）修士（経済学）。

経済調査部にて一貫して日本のマクロ経済分析に携わり、平成 27 年 7 月より現職。

著書に、「日本経済の明日を読む」、「経済がわかる論点 50」（いずれも東洋経済新報社、共著）。

■講座概要：訪日外国人数の増加が続く中、ホテル市場に熱い視線が集まっています。一方で、インバウンドの増勢が今後も続くのかどうか、ホテルの建設ラッシュはバブルではないのかといった懸念も聞かれます。本セミナーでは、人口減少の影響を受ける国内旅行の動向なども踏まえながら、2020 年に向けて想定される宿泊需要や市場規模について、東京以外の地域も含めて展望していただきました。

